

第34回(平成30年) 柏流さよなら少年野球大会

優勝 野田南部 R

準優勝 フレンズ

第三位 ジャラーズ

第四位 松戸ゴールデンファイターズ



開催期間 平成29年11月～平成30年2月

主催 柏流さよなら少年野球大会 運営委員会

後援 ダイワマルエス株式会社 株式会社 共同写真企画

流山ボーイズ 流山ロータリークラブ

朝日スポーツキッズ

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。



「カキーン！」

その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

本大会使用球



MARU S BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

タイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

タイワホウグループ

第34回(平成30年度) 柏流さよなら少年野球大会

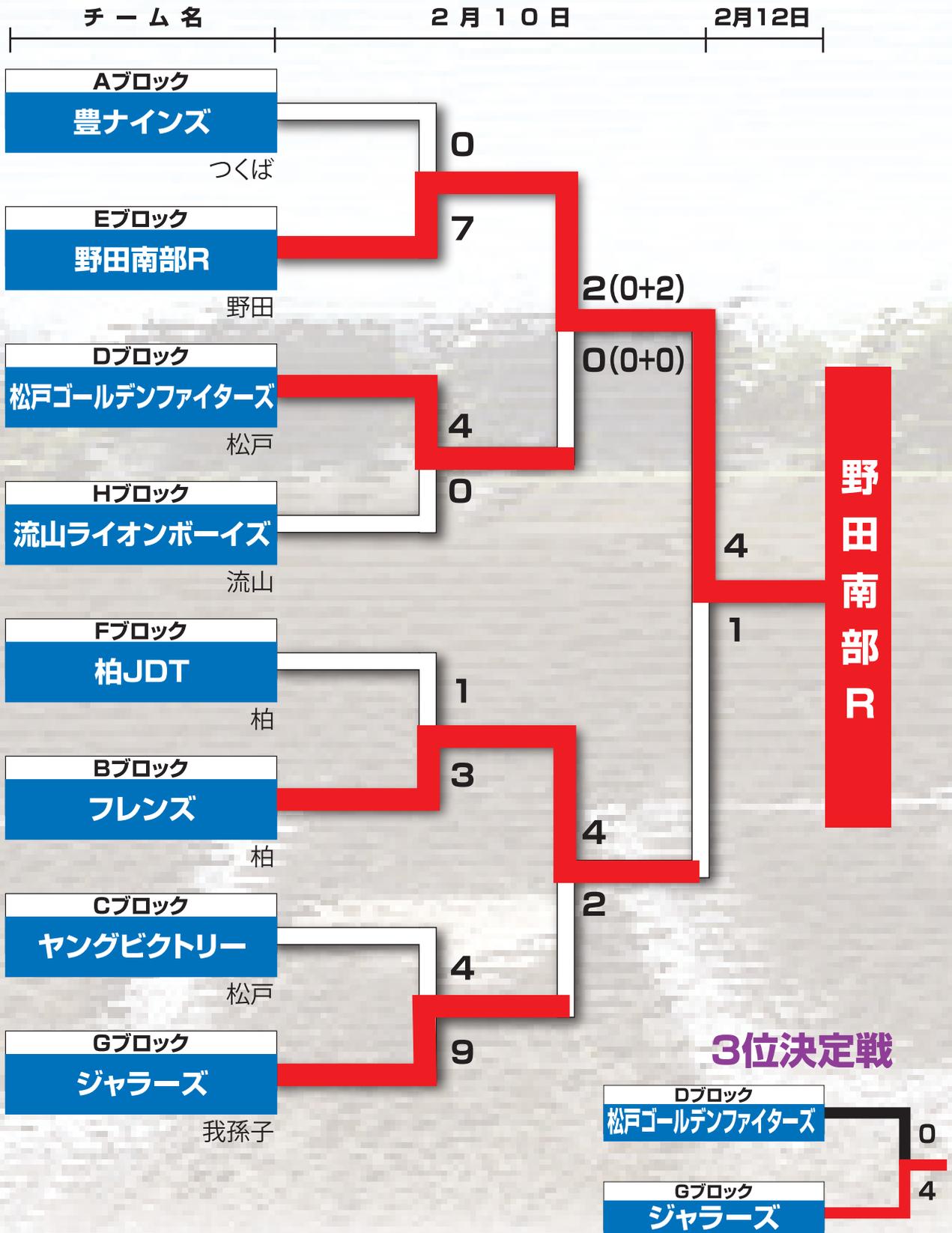
目次

大会優勝旗及びトロフィー群	1
第34回柏流さよなら少年野球・決勝大会 成績表	2
決勝大会概評及び最終日の成績表	3
~~~~~	
<b>ベスト4チーム(写真)</b>	5
<b>大会スナップ写真</b>	7
~~~~~	
ブロックリーグ戦 成績表	17
ブロックリーグ戦 概 評	21
新聞掲載記事「朝日スポーツキッズ」 平成30年3月30日 No.281	23
第34回 柏流さよなら少年野球大会 参加チーム	24
柏流さよなら少年野球大会 歴代ベスト3	25
柏流さよなら少年野球大会のあゆみ	26
柏流さよなら少年野球大会 開催要項 (平成29年1月一部改正)	27
柏流さよなら少年野球大会 役員名簿 (平成28年1月改選)	29
第34回 柏流さよなら少年野球大会 会計報告	30



第34回 柏流さよなら少年野球 決勝大会 成績表

決勝戦	1	2	3	4	5	6	7	計
野田南部R	0	0	0	1	0	0	3	4
フレンズ	1	0	0	0	0	0	0	1



野田南部Rが最終回に猛攻で栄冠

フレンズ惜敗 三位はジャローズ

第34回柏流さよなら大会は、36チームが参加して8ブロックに分かれて平成29年11月からブロックリーグ戦を行い、そのうちの首位チームが平成30年2月10日（日）と12日（祝日）野田河川敷グラウンド及び流山ボーイズグラウンドに於いて決勝大会を行った。

初日は野田河川敷グラウンドの2面を使用して第一試合がAM9：00から、第二試合がAM11：00から、それぞれ同時に1回戦4試合が行われ、続いて同日1回戦の勝利チームが第三試合で2回戦の準決勝戦を行った。

初日の1回戦2試合は、A面とB面で同時に開催予定だったが、うちA面の豊ナインズ VS 野田南部R戦は、豊ナインズが学校行事などの都合で棄権したため、野田南部Rが不戦勝となった。また、B面の柏同士の対決は、接戦の末フレンズが勝って2回戦の準決勝戦に進出した。

続いて行われた第二試合は、A面が流山ライオンボーイズ VS 松戸ゴールデンファイターズ戦で、松戸ゴールデンファイターズが完封勝ちし、B面のヤングビクトリー VS ジャローズ戦は、ジャローズの打線が爆発して9点を挙げてヤングビクトリーを撃破、それぞれベスト4に進出した。

この結果、第三試合の準決勝戦は、A面が野田南部Rと松戸ゴールデンファイターズの対決となったが、この試合は7回まで両チーム譲らず0-0から、結局タイブレークとなって特別延長戦に突入した。結果は、特別回に野田南部Rが2点を挙げて快勝し、決勝戦に駒を進めた。

B面の第三試合フレンズ VS ジャローズ戦も、緊迫した内容の好試合となって盛り上がったが、最終的にはフレンズがジャローズを圧倒して決勝戦に進出した。

かくして、最終日の2月12日（祝日）は、流山ボーイズグラウンドのA面で野田南部Rとフレンズの決勝戦、B面で松戸ゴールデンファイターズとジャローズの三位決定戦を同時に開催した。ともに好試合を展開した中で、三位決定戦は3回までは両チーム無得点で互角の展開だったが、ジャローズが中盤の4、5回に得点を重ねて4-0で完封勝利した。

また、決勝戦は、フレンズが初回に敵失で出塁した走者を塁に置いて、佐藤、佐久間の安打で先制点を挙げれば、野田南部Rも4回に一死後1番廣崎の二塁打から、2番松井のタイムリー安打で同点とするなど、序盤から1点を巡っての攻防は、非常にに見応えがあった。

そして、1-1の均衡は6回まで続き、この時点でも両チーム譲らず試合はさらに白熱の度合いを極めた。この緊迫感を破ったのが野田南部R最終回の猛攻だった。一死から4番福田の安打に始まり、次打者小山も安打で続いてチャンス을築き、6番内海のこの試合3本目の安打は鮮やかな右中間突破の三塁打（この試合2本目）となって、2点を挙げた攻撃は見事だった。これで殆ど勝負は決まったが、なおも殊勲打を放った内海を三塁に置いて、二死から敵失による1点の追加は、フレンズに取ってはダメージがかなり大きかった。

試合を振り返ると、敗れたフレンズは初回スクイズでの先行には失敗したものの、その後すかさず4番佐久間のタイムリー安打で挙げた得点は、試合の主導権を握っただけに見事だった。その後は4回に同点に追いつかれながら、6回まで頑張ったが、最後は相手のパワーに押し切られてしまった。惜しかったのは、同点に追いつかれた後の4回と5回の攻撃で、この2イニングはチャンスだっただけに、無得点だったのは残念だった。とくに4回は、先頭打者を出してバントで送った一死二塁の好機に、肝心のクリーンアップに決定打が出なかったのが残念。さらに5回も先頭打者を出しながら、併殺で潰したのも悔やまれる。

結果論になるが、この2イニングのうちのどちらかの回に得点していれば、あるいはまた違った展開になっていたかもしれない。

しかしながら、敗れたとはいえ相手は千葉県の千葉日報杯大会と、ろうきん旗争奪大会の二つの優勝を勝ち取った強豪で、そのチームを相手に、最後まで善戦健闘したのは賞賛に値する。

なお、優勝した野田南部Rの実力は最高で、最終回に打線爆発で勝ち取った栄冠は素晴らしかった。殊勲打を放った内海選手には、流山ボーイズクラブから最優秀選手賞の個人賞が授与された。

最終日の成績は次の通り。

◆三位決定戦 2月12日(祝日) 流山ボーイズグラウンドB面

松戸ゴールデンファイトー	ズ	0	0	0	0	0	0	=	0
ジャ	ラーズ	0	0	0	2	2	0	X	4

審判：球審・小泉(大会役員) 塁審・北川(流山ボーイズ)、
加納(大会役員)、岡田(流山ボーイズ)

◆決勝戦 2月12日(祝日) 流山ボーイズグラウンドA面

野田南部R	0	0	0	1	0	0	3	=	4
フ	レ	ン	ズ	1	0	0	0	0	0

審判：球審・緑川(柏市少年野球連盟) 塁審・八木澤(大会役員)、
星本(柏市少年野球連盟)、米倉(柏市少年野球連盟)



★
★
★
2017
★
★
★
CHAMPION



優勝 野田南部R



準優勝 フレンズ



第三位 ジャローズ



第四位 松戸ゴールデンファイターズ

開会式

平成30年2月10日

於:流山ボーイズグラウンド



山田会長



前年度優勝チームからの
優勝旗及びトロフィの返還



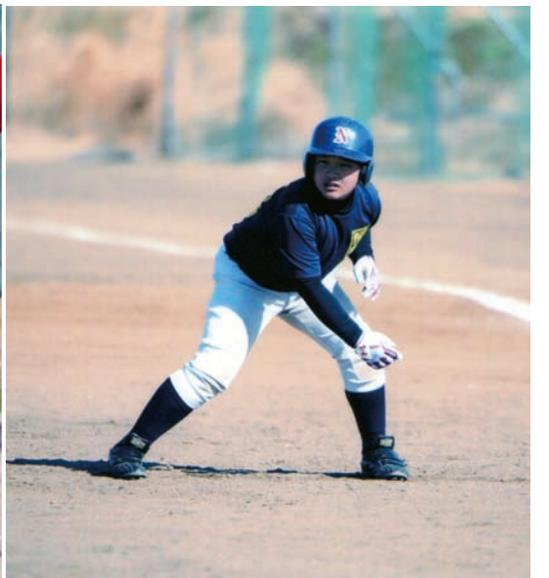


整列する出場チーム



元気に選手宣誓!!



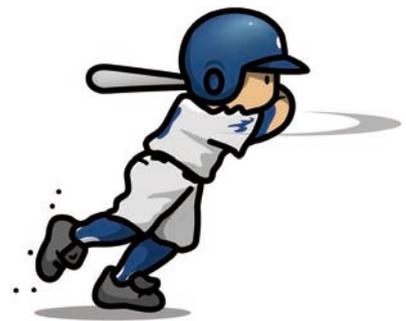


熱戦 スナツプ





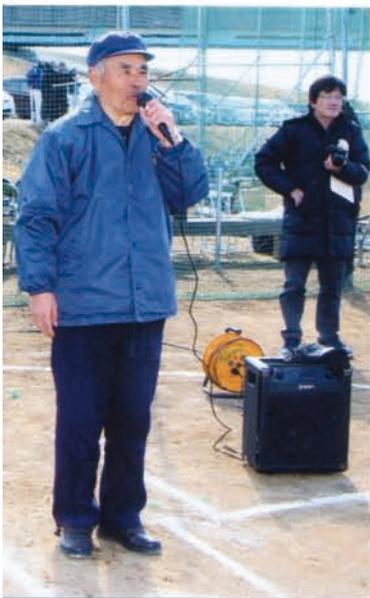




閉会式



大会役員及び来賓・後援者諸氏



参列するベスト4チームの選手(上)と流山ボーイズの選手(下)たち



受賞スナツプ

平成30年2月12日
於：流山ボーイズグラウンド



優勝:野田南部R





柏流さよなら大会ブロックリーグ戦勝敗表

◆ Aブロック

順位	チーム名 (会場)	豊 ナ イ ン ズ	流 山 ウ イ ン グ ス	ニ ュ ー メ ジ ャ ー ズ	光 G T ー R	野 田 ベ ス ト	試 合 数	勝 利	敗 戦	引 け	勝 ち 点	総 得 点	総 失 点	得 失 点 差
1	豊 ナ イ ン ズ (つくば)		○ 5-1	△ 1-1	○ 2-1	○ 1-0	4	3	0	1	7	9	3	6
2	流 山 ウ イ ン グ ス (流山)	● 1-5		○ 7-3	○ 7-1	○ 2-1	4	3	1	0	6	17	10	7
3	ニ ュ ー メ ジ ャ ー ズ (松戸)	△ 1-1	● 3-7		○ 3-2	○ 15-2	4	2	1	1	5	22	12	10
4	光 G T ー R (柏)	● 1-2	● 1-7	● 2-3		○ 4-2	4	1	3	0	2	8	14	△8
5	野 田 ベ ス ト (野田)	● 0-1	● 1-2	● 2-4	● 2-4		4	0	4	0	0	5	22	△17

◆ Bブロック

順位	チーム名 (会場)	フ レ ン ズ	セ ン ト ラ ル パ ー ク ス	三 郷 フ レ ン ズ	南 流 フ ア イ タ ー ズ	ア ゲ ア ゲ 野 球 ク ラ ブ	試 合 数	勝 利	敗 戦	引 け	勝 ち 点	総 得 点	総 失 点	得 失 点 差
1	フ レ ン ズ (柏)		○ 9-1	○ 4-0	△ 0-0	△ 2-2	4	2	0	2	6	15	3	12
2	セ ン ト ラ ル パ ー ク ス (松戸)	● 1-9		○ 4-0	○ 10-2	○ 8-1	4	3	1	0	6	23	12	11
3	三 郷 フ レ ン ズ (三郷)	● 0-4	● 0-4		○ 3-2	○ 1-0	4	2	2	0	4	4	10	△6
4	南 流 フ ァ イ タ ー ズ (流山)	△ 0-0	● 2-10	● 2-3		△ 1-1	4	0	2	2	4	4	12	△8
5	ア ゲ ア ゲ 野 球 ク ラ ブ (我孫子)	△ 2-2	● 1-8	● 0-1	△ 1-1		4	0	2	2	2	5	14	△9

柏流さよなら大会ブロックリーグ戦勝敗表

◆ Cブロック

順位	チーム名 (会場)	ヤング ビクトリー	吉川 ドリームス	マリ ンベア ーズ	アド ウイン クラブ	リト ルウイ ングス	試 合 数	勝 利	敗 戦	引 分 け	勝 ち 点	総 得 点	総 失 点	得 失 差
1	ヤングビクトリー (松戸)		○ 8-4	○ 1-0	△ 3-3	○ 3-2	4	3	0	1	7	15	9	6
2	吉川ドリームス (吉川)	● 4-8		○ 6-3	○ 6-4	○ 5-4	4	3	1	0	6	21	19	2
3	マリンベアーズ (流山)	● 0-1	● 3-6		○ 7-0	○ 3-0	4	2	2	0	4	13	7	6
4	アドウインクラブ (柏)	△ 3-3	● 4-6	● 0-7		○ 0-3	4	1	2	1	3	16	19	△3
5	リトルウイングス (我孫子)	● 2-3	● 4-5	● 0-3	● 3-9		4	0	4	0	0	9	20	△11

◆ Dブロック

順位	チーム名 (会場)	松戸 ゴールデン ファイターズ	我孫子 リトルイー グルス	野 田 南 部 N	流 山 レイ ソル	グ リ ン シャ ーク ス	試 合 数	勝 利	敗 戦	引 分 け	勝 ち 点	総 得 点	総 失 点	得 失 差
1	松戸ゴールデン ファイターズ (松戸)		○ 2-0	○ 3-2	○ 8-0	○ 8-1	4	4	0	0	8	21	3	18
2	我孫子 リトルイーグルス (我孫子)	● 0-2		○ 2-0	○ 4-2	○ 10-4	4	3	1	0	6	16	8	8
3	野田南部 N (野田)	● 2-3	● 0-2		○ 3-1	○ 6-0	4	2	2	0	4	11	6	5
4	流山レイソル (流山)	● 0-8	● 2-4	● 1-3		○ 13-7	4	1	3	0	2	16	22	△6
5	グリーンシャークス (柏)	● 1-8	● 4-10	● 0-6	● 7-13		4	0	4	0	0	12	37	△25

柏流さよなら大会ブロックリーグ戦勝敗表

◆ Eブロック

順位	チーム名 (所在地)	野田南部R	我孫子ブルーシャークス	Aトラークス	SBOXウエスタンズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
													差
1	野田南部R (野田)		○ 7-1	○ 4-1	○ 5-3	3	3	0	0	6	16	5	11
2	我孫子ブルーシャークス (我孫子)	● 1-7		△ 4-4	○ 14-1	3	1	1	1	3	19	12	7
3	Aトラークス (松戸)	● 1-4	△ 4-4		△ 4-4	3	0	1	2	2	9	12	△3
4	SBOXウエスタンズ (柏)	● 3-5	● 1-14	△ 4-4		3	0	2	1	1	8	23	△15

◆ Fブロック

順位	チーム名 (所在地)	柏JDT	金杉ミリオンズ	牧の原メジャーズ	オレンジーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
													差
1	柏JDT (柏)		○ 7-0	○ 12-0	○ 8-1	3	3	0	0	6	17	1	26
2	金杉ミリオンズ (松伏)	● 0-7		○ 9-1	○ 8-3	3	2	1	0	4	17	11	6
3	牧の原メジャーズ (松戸)	● 0-12	● 1-9		○ 8-2	3	1	2	0	2	9	23	△14
4	オレンジーズ (我孫子)	● 1-8	● 3-8	● 4-6		3	0	3	0	0	6	24	△18

柏流さよなら大会ブロックリーグ戦勝敗表

◆ Gブロック

順位	チーム名 (所属)	ジャ	フ	ミ	双	試 合 数	勝 利	敗 戦	引 け	勝 ち 点	総 得 点	総 失 点	得 失 点 差
		ラー ズ	ォー セブ ン	ラ クル ズ	葉								
1	ジャラーズ (我孫子)	△	△	○	○	3	2	0	1	5	20	5	15
2	フォーセブン (柏)	△	△	△	○	3	1	0	2	4	10	3	7
3	ミラクルズ (流山)	●	△	△	○	3	1	1	1	3	11	10	1
4	双葉 (松戸)	●	●	●	●	3	0	3	0	0	3	26	△23

◆ Hブロック

順位	チーム名 (所属)	流山	松戸	野田	柏	試 合 数	勝 利	敗 戦	引 け	勝 ち 点	総 得 点	総 失 点	得 失 点 差
		ライオン ボーイズ	コンドリ アーズ	ドンキ ーズ	R A D I								
1	流山ライオンボーイズ (流山)	○	○	○	○	3	3	0	0	6	27	3	24
2	松戸コンドリアーズ (松戸)	●	○	○	○	3	2	1	0	4	20	17	3
3	野田ドンキーズ (柏)	●	●	○	○	3	0	1	0	2	18	14	4
4	柏 R A D I (柏)	●	●	●	●	3	0	3	0	0	7	38	△31

☆ ★ ブロックリーグ戦概評 ☆ ★

◆Aブロック

このブロックは対戦成績の得点が極端な割には、各チームの実力が拮抗していた。首位となった茨城県つくば市から初参加の豊ナインズは、ニューメジャーズとは引き分けたが、その他の3試合はデフェンスの良さを生かして、接戦勝ちしたのが印象に残った。

2位の流山ウイングスと3位のニューメジャーズは、打撃力は素晴らしかったが、豊ナインズとの対戦で、勝利出来なかったのが痛かった。

◆Bブロック

フレンズが4位となった南流ファイターズと、5位のアゲアゲ野球クラブと引き分けたが、セントラルパークス、三郷スターズとの直接対決に勝ったことで、負けなしの2勝2引分けの成績で首位となった。2引き分けしながら無敗で首位になったのは珍しい記録。

セントラルパークスはフレンズとの直接対決に敗れたのが痛かった。他の3試合には大勝して勝数ではフレンズを上回っただけに、この一敗が非常に悔やまれる。

4、5位となった南流ファイターズとアゲアゲ野球クラブは、首位のフレンズに引き分けたのは見事だったが、2位のセントラルパークスと、3位の三郷スターズに敗れたため、リーグ戦の引き立て役に終わった。なお、両チームの直接対決が引分けに終わったことで、最終的な順位は得失点差1の僅差で南流ファイターズが上位となった。

◆Cブロック

ヤングビクトリーが下位のアドウインクラブと引き分けたが、マリンベアーズ、リトルイーグルス戦の接戦勝ちを含め、3試合に勝利したことで無傷の成績で首位となった。

攻守にまとまりが目立った吉川ドリームスは、下位の3チームには確実に勝星を挙げたが、ヤングビクトリーとの直接対決に敗れたのが致命傷となった。しかしながら敗れたとはいえ、この2チームの実力はほぼ互角だった。

3位マリンベアーズ以下の3チームは、上位チームとの接戦はあったが、僅差での敗戦が致命傷となった。

◆Dブロック

松戸ゴールデンファイターズの実力が目立っていた。我孫子リトルイーグルスと野田南部Nには接戦したもの、攻守に安定した内容で勝利をモノにしたあたりはさすがだった。

逆に惜しかったのは、松戸ゴールデンファイターズに僅差で敗れた我孫子リトルイーグルス。他の3試合を確実に勝利していただけに、直接対決での黒星が残念だった。

野田南部N以下は勝星一つの差で順位が決定したが、首位争いとは別次元で激戦だった。

◆Eブロック

このブロックから4チームでのリーグ戦となった。首位となった野田南部Rの実力が抜けていて、3戦全て余裕の勝利だった。とくに首位を争った我孫子ブルーシャークス戦の大勝が見事だった。

我孫子ブルーシャークスは、下位のATラークスとは引分け、SBOXウエスタンズには大勝したが、野田南部Rに完敗では、首位は程遠かった。

ATラークスとSBOXウエスタンズはともに勝星が無く、直接対決でも引分けに終わったため、順位は得失点差での決着となり、ATラークスが上位となった。

◆Fブロック

柏JDTが3試合全勝で文句なしの独走首位。3試合の総得点17点（1試合平均5,7）は打撃力の素晴らしさを物語っており、総失点の1点は完璧なデフェンス力を証明している、この数値から見ても首位は不動で、他チームの追従は許さなかった。

この結果、2位金杉ミリオンズ以下のチームは、柏JDTには全て完敗で、結局同チームの引き立て役に終わった。

◆Gブロック

ジャラーズ、フォーセブン、ミラクルズ3チームの実力が拮抗していて、首位争いは最も熾烈だった。結果は、フォーセブンに引き分けたジャラーズが、ミラクルズと双葉に勝って2勝を挙げて首位となった。

フォーセブンも健闘したが、ジャラーズとミラクルズに引き分けた分だけ、首位に届かなかった。これはミラクルズにも言えることで、ジャラーズとの直接対決の結果如何によっては、首位の可能性もあっただけに、敗戦は致命傷となった。

◆Hブロック

流山ライオンボーイズが3戦全勝の独走で首位を確保した。野田ドンキーズには僅差勝ちしたものの、松戸コンドリアーズと柏ADIに大勝して実力をアピールした。

松戸コンドリアーズと野田ドンキーズは、直接対決で勝利した松戸コンドリアーズが上位となって2位は確保したが、流山ライオンボーイズ戦の敗戦で、決勝大会進出の夢を砕かれてしまった。

戦前下馬評の高かった野田ドンキーズは、自滅で結局1勝だけに終わった。

新聞掲載記事

ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

毎月30日にASA(朝日新聞販売所)からお届けします

平成30年
3月30日号

No. 281

配布/千葉県北部8市
発行/朝日れすか編集部
〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19-3F
[TEL]04(7143)4021[FAX]04(7143)3453
[URL]http://www.asa-kids.com/

最終回 3連打 野田南部Rが初優勝

▽決勝	野田南部R	0	0	0	1	0	0	3	4
勝	フレンズ	1	0	0	0	0	0	0	1

優勝した野田南部R



第34回 柏流さよなら少年野球大会

第34回柏流さよなら少年野球大会は2月12日、流山ボーイズグラウンドで決勝があり、野田南部R(南部ルーキーズ)が柏市のフレンズ(千代田ファイターズ・新栄ファイアーズ・柏ヤングース・豊上ジュニアーズ)を4-1で破り、初優勝を果たした。3位は松戸市のゴールデンファイターズ(野菊野ファイターズ・松戸スラッガーズ)だった。

優勝した野田南部Rの廣崎錦也監督は「いつもどおりにやれば勝てる」と試合前にひとことだけ言った」と子どもたちのやる気を後押し。主将の廣崎連君は「優勝できて、ピッチャーとしても抑えられてよかった。中学生になったら硬式野球をやりたい」と力強く語った。

大会には6年生だけの単独、合同を合わせて36チームが参加。予選リーグを勝ち上がった8チームが決勝トーナメントに進んだ。最優秀選手には、3打数3安打2打点と勝利に貢献した内海君が選ばれた。

第34回柏流さよなら大会参加チーム名簿

ブロック	地域	チーム名	単独 合同	構成チーム
A	つくば	豊ナインズ	単独	
A	松戸	ニューメジャーズ	合同	常盤平ボーイズ・五香メッツ
A	柏	光GT-R	合同	光インパルス・新柏ツインズ・増尾レッドスターズ・柏南ギャランツ
A	野田	野田ベスト	合同	清水タイガース・野田ロッキーズ・中根ヤンキース・柳沢イーグルス・野田ジャガーズ
A	流山	流山Wings	合同	向小金ファイターズ・前ヶ崎クラブ・ありんこアントス・八木南クラブ・長崎FLB
B	我孫子	アゲアゲ野球クラブ	合同	布佐スパイダース・新木ファイターズ
B	松戸	セントラルパークス	単独	
B	柏	フレンズ	合同	千代田ファイターズ・新栄ファイアーズ・柏ヤンガース・豊上ジュニアーズ
B	三郷	三郷フレンズ	合同	友和タイガース・三郷スターズ・新和ヴィクトリー
B	流山	南流ファイターズ	合同	南流ファイターズ・鱧ヶ崎ジュニアフィニッシュ
C	我孫子	Little wings	合同	ブラックバード・リトルキング・湖北台スパローズ
C	松戸	ヤングビクトリー	合同	小金原ビクトリー・根木内ヤングスターズ
C	柏	アドウィン・クラブ	合同	加賀シャトルズ・柏ビクトリー・名戸ヶ谷アトミック・藤心ジャガーズ・GBC流山
C	吉川	吉川ドリームズ	単独	
C	流山	マリンベアーズ	合同	加岸ベアーズ・流山マリナーズ
D	我孫子	我孫子リトルイーグルス	単独	
D	松戸	松戸ゴールデンファイターズ	合同	野菊野ファイターズ・松戸スラッガーズ
D	柏	グリーンシャーク	合同	酒井根東グリーンズ・光ヶ丘シャークス
D	野田	野田南部N	合同	西新田子ども会・中地BBC・山崎クーガーズ
D	流山	流山レイソル	合同	初石クーガーズ・流山シャークス・江戸川台フェニックス
E	我孫子	我孫子ブルーシャークス	合同	新木野コンドル・ブラックタイガース・サンスパッツ
E	松戸	ATラークス	合同	高塚新田ラークス・秋山ソフト
E	柏	SBOXウエスタンズ	合同	大船コンドルズ・柏ボーイング・柏リアノス・伊勢原ジャガーズ・北柏スーパーナイン
E	野田	野田南部R	合同	南部ルーキーズ・レッドファイターズ
F	我孫子	オレンジーズ	合同	布佐ジャイアンツ・白山クラブ
F	松戸	牧の原メジャーズ	合同	牧の原ジュニアーズ・松戸KSカージナルス
F	柏	柏JDT	合同	高野台ジャガーズ・柏ドリームス・トライスター・松葉ニューセラミックス
F	松伏	金杉ミリオンズ	単独	
G	我孫子	ジャラーズ	合同	リトルジャガーズ・久寺家エラーズ
G	松戸	双葉	単独	
G	柏	フォーセブン	合同	豊四季イーグルス・旭町サンライズ・若草・四小地区少年野球クラブ
G	流山	ミラクルズ	合同	カージナルス・流山ホークス
H	松戸	松戸コンドリナーズ	合同	矢切コンドルス・馬橋ドリームス・新松戸リトルベアーズ
H	柏	柏RADI	合同	北柏レッドファイターズ・北柏オールスターズ・イリヤーズ・ダックス
H	野田	野田ドンキーズ	単独	
H	流山	流山ライオンボーイズ	合同	東深井ボーイズ・小田急ライオンズ

柏流さよなら少年野球大会 歴代ベスト3

回数	開催年度	出場 チーム数	優勝	準優勝	第三位
1	1985 昭和60年	15	柏友ジャニーズ (柏)	カージナルス (流山)	黒葉留民団 (柏)
2	1986 昭和61年	24	タイタンズ (流山)	八木北オールスターズ (流山)	柏友トライスター 西原アローズ (柏)
3	1987 昭和62年	20	柏ライナーズ (柏)	中新宿ウィングス (柏)	千代田ファイターズ 四小地区少年野球クラブ (柏)
4	1988 昭和63年	20	トライスター (柏)	名戸ヶ谷アトミック (柏)	四小+柏友 八木北小A (柏)
5	1989 平成元年	18	柏友ジャニーズ (柏)	宮園イーグレッツ (流山)	千代田ファイターズ つくしアトミック (柏)
6	1990 平成2年	20	トライスター (柏)	名戸ヶ谷ファイブス (柏)	豊四季イーグルス 四小地区少年野球クラブ (柏)
7	1991 平成3年	20	流山ミラクルズA (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)	増尾クラブ 四小地区少年野球クラブ (柏)
8	1992 平成4年	20	南流クラブ (流山)	ありんこアントス (流山)	増尾クラブ 流山ミラクルズA (流山)
9	1993 平成5年	20	トライスター (柏)	八木南クラブ (流山)	千代田ファイターズ 加岸&西平井パワーズ (流山)
10	1994 平成6年	20	高野台ジャガーズ (柏)	柏フェアB (柏)	増尾オールスターズ 流山ミラクルズA (流山)
11	1995 平成7年	28	新松戸スターズ (松戸)	流山ミラクルズA (流山)	オール長崎 サクセス (流山)
12	1996 平成8年	21	流山レイソル (流山)	三小クラブ (柏)	流山ミラクルズA 新松戸スターズ (松戸)
13	1997 平成9年	19	柏ボーイング& トライスター (柏)	流山ミラクルズA (流山)	三小クラブ 柏ドリームス (柏)
14	1998 平成10年	21	向小金ファイターズ (流山)	スーパースターズA (流山)	清水タイガース 流東クラブ (野田) (流山)
15	1999 平成11年	20	松葉ニューセラミックス (柏)	千代田ファイターズ (柏)	ミラクルズ 小金原ビクトリー (流山) (松戸)
16	2000 平成12年	24	ミラクルズ (流山)	長崎FLB (流山)	清水タイガース 流山レイソル (野田) (流山)
17	2001 平成13年	22	流山レイソル (流山)	南流ファイターズ (流山)	リトルベアーズ 小金原ビクトリー (松戸) (松戸)
18	2002 平成14年	35	松葉ニューセラミックス (柏)	流山レイソル (流山)	グッバイスワローズ ミラクルズ (松戸) (流山)
19	2003 平成15年	37	ファイヤーブレーブス (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	スカイヤーズ (松戸)
20	2004 平成16年	42	セントラルパークス (松戸)	松飛台メジャーズ (松戸)	高野台ファイターズ (柏)
21	2005 平成17年	39	ミラクルズ (流山)	増尾オールスターズ (柏)	にしくぼフェニックス (松戸)
22	2006 平成18年	42	グレイトレイソル (流山)	中松ボンバーズ (我孫子)	フォーセブン (柏)
23	2007 平成19年	46	セントラルパークス (松戸)	松飛台メジャーズ (松戸)	JTBスターズ (柏)
24	2008 平成20年	57	マリンベアーズ (流山)	大津が丘ファイターズ (柏)	ジュニアファイターズ (流山)
25	2009 平成21年	51	松飛台メジャーズ (松戸)	ニューメジャーズ (松戸)	ヤングスターズ (松戸)
26	2010 平成22年	59	小金原ビクトリー (松戸)	BDスターズ (野田)	アドウィンクラブ フレンズ (柏) (柏)
27	2011 平成23年	64	フレンズ (柏)	ブラックホークス (我孫子)	常盤平ボーイズ (松戸)
28	2012 平成24年	58	流山マリンベアーズ (流山)	松葉ドリームス (柏)	ジュニアファイターズ (流山)
29	2013 平成25年	58	増尾オールスターズ (柏)	フレンズ (柏)	松戸J&V (松戸)
30	2014 平成26年	49	松戸スターズ (松戸)	松飛台メジャーズ (松戸)	野田南部Y (野田)
31	2015 平成27年	49	加岸ジュニアファイターズ (流山)	JCミックス (柏)	増尾オールスターズ (柏)
32	2016 平成28年	42	ミラクルズ (流山)	柏DJM (柏)	SBOX (柏)
33	2017 平成29年	39	三郷フレンズ (三郷)	ニューメジャーズ (松戸)	松戸ゴールデンファイターズ (松戸)
34	2018 平成30年	36	野田南部R (野田)	フレンズ (柏)	ジャラーズ (我孫子)

柏流さよなら少年野球大会のあゆみ

昭和60年に柏市内北部の柏友ジャニーズ、四小地区少年野球クラブと、同東部地区の黒葉留民団、流山市のカージナルスほか流山北部地区のチームが中心となって、6年生だけ出場の大会としてスタート。

初年度は出場チームも少なく、3ブロックのリーグ戦により、決勝戦はブロック1位チーム同士の総当たり制としたが、二年目から出場チームが増加したことで、以降4ブロックによるリーグ戦制に改めてこの方法を定着させた。同時に、決勝大会は各ブロック1位チームによりトーナメント戦で優勝を決め、三位決定戦は行わず同成績としてこの方法を継続して来たが、平成15年の第19回大会から三位決定戦を設定した。

大会名は、当初出場チームが柏市と流山市だけだったことから、両市の頭文字をとって「柏流」とし、さらに6年生にとっては野球が出来るのが時期的にも最後となることから、「さよなら」を後につけて「柏流さよならリーグ少年野球大会」とした。なお、出場資格を6年生だけに限定したことは、開催時期が新メンバー（5年生以下）の研修大会であるカリフ・SG旗争奪少年野球大会と重なることが最大要因。また、各市では秋季大会が終了した後で、時期的にも6年生だけの単独チームは編成が難しいことから、4チームまでの混成が可能で、人数が多い場合は2チーム以上での出場が認められるのも特徴。

さらに開催期間が11月下旬から翌年3月上旬までの寒い時期に加え、天候及びグラウンドコンディションや確保面でもハンディがあること、指導者が他の大会と掛け持ちなどの理由から開会式は行わず、グラウンド確保、日程編成及び運営も全て各ブロックの当該チームに一任して来た。そして、決勝大会についても当初は当該チーム同士でグラウンド、日時を決めて行い、表彰式（閉会式）についても当該チームによる自主運営としてきた。

大会の定着にともない、平成6年以降に松戸市と野田市からの出場チームがあり、さらに平成14年には我孫子市と三郷市から、そして近年はつくば市、成田市、吉川市、東京葛飾からも出場チームがあった。

ちなみに、当大会は平成11年にボーイズリーグ・流山クラブ（現流山ボーイズ）のグラウンド（当時流山市東深井）を使用して初めて開会式を開催したが、これを機に平成12年度から大会の正式な組織（柏流さよならリーグ少年野球大会運営委員会）が結成された。ともない以降の大会開催日を毎年初日は1月の成人の日（祝日）とし、決勝大会も2月初旬から3月上旬迄に決めて、最終日は流山ボーイズのグラウンドで開催することも決まった。

当大会の後援は、発足当初は使用球が昭和ゴム株式会社のSGボールであったが、同社が平成15度一杯で軟式ボールの生産から撤退したため、代わって新たにダイワマルエス株式会社が後援となった。また、平成12年度から上記のボーイズリーグ・流山ボーイズが加わり、さらに写真撮影の共同写真企画も平成14年度から正式に加わった。

大会名も従来の「柏流さよならリーグ少年野球大会」から、平成15年度に現在の「柏流さよなら少年野球大会」に改称した。

柏流さよなら少年野球大会開催要項 (平成29年1月一部改正)

大会名	柏流さよなら少年野球大会
主催・主管	柏流さよなら少年野球大会運営委員会
後援	ダイワマルエス株式会社 株式会社共同写真企画 朝日スポーツキッズ 流山ボーイズ (全日本ボーイズリーグ加盟) 流山ロータリークラブ
開催期間	毎年1月成人の日(祝日)を初日として、同日流山ボーイズのグラ ウンドにて開会式を行い、以降2月一杯までをブロックリーグ戦(グラ ウンドは当該チームのグラウンド)に当てる。なお、ブロックリーグ戦は 近年出場チームが各種大会と競合するケースが多いので、抽選会終了 後開会式を待たずに早めに始めても良い。 決勝大会は、各ブロックの首位チームによりトーナメント方式で行な う。同大会の開催日は、原則として2月中旬から下旬とし、最終日(三 位決定戦・決勝戦)は全て流山ボーイズのグラウンドに於いて行なう。
参加チーム 出場資格	地域は原則として東葛地区を対象とするが『友軍』チームの出場も可。 全て6年生のみ。単独チームで出場出来ない場合は、5チームまで の混成が認められる。メンバーが多い場合は、同一チームで2チーム の出場も可。 出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督・コーチ・選手の ユニホーム、背番号も統一しなくても可。但し、監督はリボンの装着 を義務付ける。
試合方法	①参加チームを数ブロックに分けてそれぞれ総当たりリーグ戦を行い、 首位チームのみが決勝大会に出場出来る。なお、順位の決定は勝点 制とし、勝利が2点、引き分け1点、敗戦0点とし、勝ち点の最も 多いチームを上位とする。 ②リーグ戦で同成績の場合の順位は、次の規定で決定する。 1. 対戦勝利チームが上位。三つ巴の場合は得失点差の最も多いチ ームが上位で、得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが 上位となる。 2. 但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームはたとえ得 失点差で上回っても、3チームでの最下位となる。 ③全試合7回または時間(シートノックを除き1時間30分)制で、 リーグ戦では得点差によるコールドゲームは適用しない。但し、決 勝大会の準決勝戦と三位決定戦のみコールドゲーム(3回以降10 点差、5回以降7点差)の適用がある。 ④7回または規定時間に達しても同点の場合は、リーグ戦は引き分け とし、延長戦は行なわない。但し、決勝大会に限っては特別ルール (一死満塁で継続打者)の適用(但し、延長は2回まででそれ以降は

抽選)がある。

⑤投手の投球規定回数は一試合5回(15アウト)、一日10回(30アウト)までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。

⑥柏流さよなら少年野球大会の特別ルール

1. 6年生最後の大会なので、控え選手の出場機会を出来るだけ多くする。そのために、次の特別ルールを適用する。
2. 投手以外の「指名打者」2名を必ず出場させる。メンバーが足りない場合はこの限りではないが、ベンチに選手がいる場合は指名打者は必ず出場させなければならない。なお、指名打者は守備につけても良い。

⑦その他のグラウンドルールは、当該グラウンドの特別ルールを適用する。

審判当番

リーグ戦については各ブロック内で話合って決定する。決勝大会については原則として役員が担当するが、出場チームに協力を仰ぐ場合もある。

ブロック長

リーグ戦運営の総括責任者として、日程編成及び運営については「大会運営委員長」としての権限を有し、全ての責任を持つ。同時にリーグ内の試合結果などを大会事務局まで速やかに報告することを義務付ける。

事務局：平田宗久 TEL/FAX 04-7155-4052

小泉博康 TEL/FAX 04-7154-8529

報告は出来るだけFAXでお願いいたします。

試合の結果はホームページ(担当：小泉)に掲載されます。

リーグ戦の日程はブロック長と良く話し合って決めてください。なお、**ブロック長に一任して決定した日程を2試合以上棄権した場合は、当該チームは自動的に失格**となり、以降の試合には出場出来ず、残り試合は全て不戦敗(得点は0-10)となりますので、この点をブロック長は各チームに説明して徹底させて下さい。但し、特別な事情がある場合はこの限りではないが、ブロック長に事前連絡がない場合は認められない。

会費

1チーム 5000円(抽選会の時に納入する)

提出書類

抽選会の時に出場チームは連絡責任者(名目上の代表者は不要)と監督名を申込書に記入して提出してもらいますので、その他の記載事項も含めて事前に確認しておいてください。記載事項の氏名は必ずフルネームで記入し、TEL、チーム名なども間違いのないようにしてください。代理抽選の場合も同様で、その折会費も必ず納入してください。

表彰

優勝、準優勝、第三位、第四位の団体賞と、個人賞は流山ボーイズから。他に流山ロータリークラブからの協賛もあり。

付記事項

開会式には、各チームとも必ずプラカード(規格は自由)を持参してください。団旗の持込も歓迎します。

柏流さよなら少年野球大会役員（H28/1 改選）

会 長	山 田 晃 一	東葛地区親睦少年野球大会会長
副 会 長	青 木 誠	野田市少年野球連盟会長
〃	金 丸 正 孝	柏市少年野球連盟元会長
〃	平 田 宗 久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加 納 貞 夫	野田市少年野球連盟役員
審判部副部長兼務		
事業部長(事務局総括)	小 泉 博 康	流山市少年野球連盟役員
事業部副部長	大 割 健 夫	柏市少年野球連盟役員
審判部部長	松 本 秀 樹	流山市・江戸川台フェニックス
審判部副部長	藤 井 豊 務	柏市少年野球連盟役員
〃	* 川 口 裕 司	松戸市少年野球連盟役員
運 営 委 員（事業部担当）		
〃	豊 田 穰	流山市少年野球連盟役員
〃	柴 田 清 光	松戸市少年野球連盟役員
〃	鈴 木 三 郎	柏市少年野球連盟役員
〃	* 八 鍬 昌 次	流山市少年野球連盟役員
〃	・ 監査役兼務 今 野 正 博	野田市少年野球連盟役員
運 営 委 員（審判部担当）		
〃	渋 谷 重 雄	流山市少年野球連盟役員
〃	西ヶ迫 勝 宏	流山市少年野球連盟役員
〃	梅 田 敦 司	流山市少年野球連盟役員
〃	堀 江 速 人	野田市少年野球連盟役員
〃	岡 野 誉	野田市少年野球連盟役員
〃	湯 本 秀 次	野田市少年野球連盟役員
〃	内 田 欽 也	野田市少年野球連盟役員
〃	八木澤 巖	柏市少年野球連盟役員
〃	吉 田 繁	柏市少年野球連盟役員
〃	濱 田 健	柏市・松葉ニューセラミックス
〃	桑 名 裕 介	松戸市少年野球連盟役員
〃	居 倉 諭	松戸市少年野球連盟役員
〃	吉 岡 貴 明	松戸市少年野球連盟役員
顧 問	善 積 信 夫	ダイワマルエス(株)東京営業所長

(注) *印は非常勤

第34回 柏流さよなら大会 会計報告

◆収入の部

大会参加費 @5,000×36チーム=¥180,000
第33回大会 繰越金 ¥63,461

収入合計 243,461円

◎寄贈品

* (株)ダイワマルエス ボール 4 ダース

* 流山クラブ 副賞

◆支出の部

抽選会会場費 ¥2,460
グラウンド使用料 ¥14,540
参加賞用ボール ¥38,880
賞状代 ¥10,000
トロフィー代 ¥19,818
冊子データ作成費 ¥80,000
編集費(冊子作成) ¥20,000
(編集費) ¥10,000
事務局経費(打合せ補助費) ¥25,000
(打合せ補助費・スコアブック)

支出合計 220,698円

※収入 243,461円－支出 220,698円 = 22,763円は、第35大会へ繰り越します。

会計担当 平田 宗久

平田会計担当から提示されました、平成29年度柏流さよなら大会の会計帳簿および収支決算書につきまして、帳簿並びに関係証券書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。

平成30年2月20日

会計監査担当

今野 正博



Forever Glory Days!

嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに!



全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7 (軟式野球会館) ☎03-5474-0741

◆本社：TEL06-6453-5981 ◆中部支店：TEL052-783-0825

◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741 ◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版どうぞ!

●松戸 ●柏 ●我孫子 ●野田
●流山 ●鎌ヶ谷 ●白井 ●印西



ASA

子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F TEL:04-7143-4021 FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
(一人あたり2,500円から7,000円)

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
(一人あたり3,500円から)

●NER企画のスタンス●

- 1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。
- 2,一枚の写真の中で主役は一人!
- 3,子供たちの表情を重視します!
- 4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

お問い合わせは
TEL&FAX

04-7197-0115



新入部員募集

流山クラブボーイズ中学には、毎年、各地域の少年野球連盟から多くの少年達が入部し活躍を続けています。

そして、卒団生の中には甲子園で活躍した選手やプロ野球選手になった選手もいます。

流山クラブボーイズ中学部では、硬式野球の基本から十分な指導が受けられ、一年生から練習試合を通じて野球の面白さ、楽しさが思いっきり体験できます。みなさん是非一度、流山クラブボーイズに見学・体験にお越し下さい！！

主な進学先

天理高校	花咲徳栄高校	専修大松戸高校
習志野高校	市立柏高校	安田学園高校
木更津高校	早稲田実業高校	西武台千葉高校
東葛飾高校	県立柏高校	東洋大牛久高校
浦和学院高校	帝京高校	流通経済柏
春日部共栄高校	二本松学舎高校	常総学院高校
聖望学園	日大豊山高校	他
市立船橋高校	関東第一高校	

見学 体験大歓迎！

江戸川河川敷グランドH面にて練習を行っています。

※試合等で不在となるケースもございますのでHP上若しくは代表までお問合せ下さい

主な戦績

- 春季全国大会 出場12回
- 全国選手権大会 出場12回 (ベスト4=2回)
- ジャイアンツカップ 出場3回 (ベスト8=1回)
- 関東大会 出場19回 (優勝1回、準優勝1回)
- 東日本大会 出場17回 (優勝1回、準優勝1回)
- 関東ボーイズリーグ大会 (準優勝1回)

連絡先

総監督 櫻井 利豫

代表 和田 勉 080-8844-0726

監督 猪狩 貴範 080-6159-4373

URL <http://nagareyamaboys.jp>



※チームのスケジュールは、ホームページ上から確認できます。また、お問合せもホームページ上からお問合せ可能です。



公益財団法人
日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE